

京都芸術大学通信教育部に2027年4月「博物館学実践コース」を新開設。 関根麻里さんのナビゲート、NHKエデュケーショナル制作の映像教材で学ぶ“これから”のミュージアム。

～実習以外の全講義がオンデマンドで通学不要。社会人のリスキリングを後押しし、学芸員資格をより身近に～

京都芸術大学（KUA、京都市左京区／学長：佐藤 卓）は、通信教育部芸術教養学科に、2027年4月「博物館学実践コース」を新設します。

2023年の改正博物館法施行以降、博物館には、資料収集・研究にとどまらず、デジタル活用、地域との連携など、より幅広い社会的役割が求められるようになっていきます。

こうした次世代を担う博物館を支える人材へのニーズと、社会人のリスキリング（学び直し／学び重ね）への関心の高まりを受け、本コースを開設するもので、所定の科目を修得することで、国家資格である学芸員資格の取得が可能です。

本コースでは、資格取得に必要な「博物館実習」科目以外、すべての講義をいつでも・どこからでも受講できるオンデマンド形式で提供するため、通学不要で卒業を目指せます。

また、対面での受講が必要となる「博物館実習」についても大学附置施設で行うことができ、働きながらも安心して資格取得に取り組める環境を整えています。

コースの導入科目である「博物館学実践入門」のナビゲーターには、タレントの関根麻里さんを起用し、NHKエデュケーショナルが撮影・編集を手掛ける、豊富な資料映像を活用したアート番組のような映像教材を導入。座学は全てオンラインで完結しながら、専門性と親しみやすさを両立させた、質の高いカリキュラムを提供いたします。

本学では「博物館学実践コース」の開設により、これまで培ってきた芸術教育の専門性と厚みをさらに増し、未来の文化・社会を支える多様な人材の育成へと繋げてまいります。

■ナビゲーター・関根麻里さんからのコメント



来春、新しくスタートする博物館学実践コース。ミュージアムの新しい役割や可能性を学べることを、今からとても楽しみにしています。私もナビゲーターとして先生方のお話を伺い、新しい発見や気づきに出会えることを心待ちにしています。

〈関根麻里さんプロフィール〉

関根麻里（せきね・まり）／タレント。1984年、東京都生まれ。

インターナショナルスクールを経て、アメリカのエマーソン大学を首席で卒業した後、日本に戻り芸能界デビュー。得意の英語を生かし、絵本翻訳や、海外のアーティスト・俳優へのインタビューも数多く行っている。2014年に結婚し、現在は2児の母。

■約70年ぶりの博物館法改正で、博物館の範囲と求められる役割も変化

博物館法が制定された1951年から75年、国内の博物館数は当時の約200館から約5,700館へと爆発的に増加し、その運営母体や役割も多様化しています。

また、2023年4月に施行された改正博物館法により、登録博物館の対象は拡大されています。従来の資料収集・研究にとどまらず、デジタル・アーカイブ化や、地域連携、文化観光の推進など、博物館が担うべき対象範囲や社会的機能は大きく広がっています。

現代の博物館には、学術的な専門知識だけでなく、社会や地域とつながるための「伝える力」や「空間・体験の構築力」が求められており、これらは「デザイン」や「アート」の視点と極めて高い親和性を持っています。

こうした背景を受け、新設する「博物館学実践コース」では、従来博物館学が培ってきた知識や方法を基盤とし、館の枠を超えた文化的活動としてミュージアムを捉えます。身近な対象を、アートやデザインの観点も採り入れながら観察し、調査し、考え、その価値を言葉や表現を通して他者と共有する力を育みます。

これからの博物館に求められる企画力や実践力など、広い視点から博物館学を学べるカリキュラムを用意しています。

■コース完結型のカリキュラムで、よりスムーズな学芸員資格取得を目指す

「博物館学実践コース」は、全国で初めて完全オンラインで4年制大学の卒業資格を取得できる課程として2013年に開設された、本学「芸術教養学科」内に設置されます（開設に伴い、従来のカリキュラムは「芸術教養コース」となり、2コース制へと移行します）。

これまで学芸員資格を取得する場合は、学部・学科の学費とは別に「博物館学芸員課程」への登録・受講料が必要でしたが、本コースでは**カリキュラムの履修がそのまま資格取得に直結**します。

オンラインで学べる手軽さがあしながら、スクーリングや大学附置施設での実地研修を通じて博物館や文化施設の現場で求められる実践力も養います。また、学芸員資格取得を希望しない場合、スクーリングなしで履修を完結でき、博物館を取り巻く社会変化や文化資源の活用のあり方などを体系的に学ぶことができます。

新コースの専門科目として、NHKエデュケーショナルが映像制作を手がける、豊富な資料映像を使用した5科目を新規開講予定です。

ナビゲーターとして関根麻里さんが登場する「博物館学実践入門」には、デザイナーで本学学長の佐藤卓や、森美術館館長で本学教授の片岡真実も登場し、アートの最前線で活躍するクリエイターの声を届けます。

■コース概要

通信教育部 芸術学部 芸術教養学科「博物館学実践コース」

開講日：2027年4月

入学定員：制限なし（初年度募集目標：200名）

授業形態：オンライン講義および実地研修

年間授業料：243,000円（初年度納入293,000円）

講師陣：

・大辻 都（フランス語圏文学／京都芸術大学通信教育部 教授）



- ・菊池敏正（文化財保存学、彫刻／京都芸術大学通信教育部 専任講師）
- ・北村美香（博物館学、博物館教育、博物館展示・マネジメント／京都芸術大学通信教育部 専任講師）
- ・田中梨枝子（教育学、博物館学、美術館教育／京都芸術大学通信教育部 准教授） 他

博物館学実践コースの詳細はこちら

<https://www.kyoto-art.ac.jp/t/course/curatorial-practice-and-art-writing/>

〈日本最大級の通信制芸術大学の学びとは？ 全20コースの説明会を9月2日よりオンラインで開催〉

- ・コース担当教員がカリキュラムや学び方を直接解説
- ・オンラインで全国どこからでも参加可能
- ・「顔出し・声出し」不要で気軽に視聴できる
- ・Q&A機能で、その場で質問・相談OK

日程：9月2日～9月13日

参加：無料。下記の特設サイトよりお申込みください。

URL：https://www.kyoto-art.ac.jp/t/briefing/briefing_2026sep/

9月2日(水)	19:00～20:30 ▶	洋画コース	写真コース
9月5日(土)	10:00～11:30 ▶	映像コース	文芸コース
	13:30～15:00 ▶	博物館学実践コース	イラストレーションコース
9月6日(日)	10:00～11:30 ▶	書画コース	和の伝統文化コース
	13:30～15:00 ▶	染織コース	建築デザインコース
	17:00～18:30 ▶	音楽コース	
9月12日(土)	10:00～11:30 ▶	空間演出デザインコース	
	13:30～15:00 ▶	芸術教養コース	ランドスケープデザインコース
	17:00～18:30 ▶	食文化デザインコース	芸術学コース
9月13日(日)	10:00～11:30 ▶	グラフィックデザインコース	日本画コース
	13:30～15:00 ▶	歴史遺産コース	陶芸コース

■京都芸術大学（KUA）について

京都芸術大学は、通学課程と通信教育課程を併せ持ち、約24,000名が在籍する国内最大規模の総合芸術大学です。2027年に創設50周年を迎えます。

通学課程（芸術学部10学科24コース）では、"社会と芸術"の関わりを重視し、企業や自治体と連携した「社会実装プロジェクト」を年間100件以上展開。アート・デザインの力で現実社会の課題解決に取り組む実践的な教育を行っています。

通信教育課程（5学科20コース）は1998年に開設された、日本初の4年制芸術大学通信教育課程です。全国・海外から多様な学生が学ぶ日本最大級の通信制芸術大学 となっています。年齢や経験を問わず芸術を学べる環境を提供しています。

所在地：〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山町2-116

URL：<https://www.kyoto-art.ac.jp/>

〈京都芸術大学の活動・取り組みをさらに知りたい方へ〉

▼Webマガジン「瓜生通信」

アートやデザインを軸に、多様な活動や人物に光を当てたインタビュー・コラム・レポートを発信しています。

→ [読む](#)

▼メールマガジン（毎週配信・無料）

世界の「いま」をアートで読み解く。

アートシーンのニュース、クリエイターや研究者によるコラム、公開講座情報などを毎週配信しています。

→ [登録する](#)

学校法人 瓜生山学園 京都芸術大学のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/26069

〈本件に関する大学へのお問い合わせ先〉

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学

広報担当：木原、田中

TEL：075-791-9112 E-mail：kouhou@office.kyoto-art.ac.jp